

## 1995 (平成7) 年

1. 14～16 第3回スキー交流会。青婦都主催。於：経済学部菅平セミナーハウス。  
参加者 90 名。
1. 21 教研集会。於：理工学部駿河台舎。  
講演「日本大学の財政分析」明治大学教授 山口孝氏
1. 23 平6年度末手当要求書提出。  
(基本給+家族手当+住宅手当) ×1.1 ヶ月+91,500 円  
『兵庫県南部地震』(阪神大震災)被災にあった受験生・在校生に対する特別措置の申し入れ」書を提出。  
1. 今回の地震で被害を受けた地域(神戸市など)に住む受験生に対しては出願書類の受付締め切り期日を延期するなど特別の措置を講ずること。  
2. 被災した受験生について受験料や来年度入学者に対する入学金を免除すること。  
3. 在校生も含め、学費についても減免措置や特別奨学金等の措置を検討し、救済策を講ずること。
1. 25 「高校部会報」65号記事。「公正な入試を確立しよう」「強制配転に反対する」  
「1994年度 教育条件基本調査」専任教員持ち時間と専任率。
1. 28 第2回大学・高校部会合同会議。於：農獣医学部東京校舎。  
推薦制度について、付属校教育について
2. 6 平6年度末手当妥結。団交3回後。  
(基本給+家族手当) ×1.0 ヶ月+0.03 ヶ月+5,000 円  
「大学部会報」2号記事。  
『日本大学の現状と課題』平成5年度全学自己点検・評価報告について 大学部会」
- 3月 校長会と人事課が「①定期人事異動のしばらくの中止、②抜本的見直し、③異動(希望者)の調整」を決定。
4. 17 平7春闘要求書提出。ベ・ア 定昇後を20,000 円UP  
諸手当 家族手当 配偶者 30,000 円、その他 20,000 円  
住宅手当 一律 50,000 円  
平7夏季一時金要求書提出。(基本給+家族手当+住宅手当) ×2.35 ヶ月+12 万円
4. 24 夏季一時金第2回団交。大学側が「役職手当を除外し、今回から一時金の算定基礎を基本給と家族手当とする(95年度予算執行)」と回答。
4. 29～30 新緑の季節に伊豆へ竹の子狩り。青婦都主催。参加者 30 名。
5. 20 平7夏季賞与妥結。団交5回後。  
(基本給+家族手当) ×2.35 ヶ月+1 万円+3,500 円
5. 22 一時金算定基礎についての「確認事項」を交わす。  
・「役職手当については、賞与支給の『内規』に則って支給するものとし、今夏季賞与に限り、経過措置として役職手当を特に算定基礎に加えて支給する。  
・住宅手当の算入については今後の検討課題とする。
6. 13 平7ベ・ア等妥結。団交5回後。基本給(定昇後)0.7%、  
諸手当 家族手当：配偶者 23,000 円、その他 11,500 円、  
住宅手当：世帯主 22,800 円、その他 15,300 円
7. 5 「組合報」152号〔総会議案号〕記事。  
「阪神大震災義援金 6月末日まで596,632 円 ありがとうございます」
7. 15 第32回定期総会。於：経済学部本館会議室。  
1994年 活動報告、決算報告、  
1995年 活動方針、予算決定  
草原光明(経済)委員長、30周年記念事業推進総括責任者：篠島力(豊山高)  
白書：草原、谷口、中村信、遠藤、桜井、運動史：塩澤、菅野、吉田、出口、  
行事：篠島、和田、安藤、中村哲、などを決定
10. 14 第5回・映画と講演の集い。於：日大理工学部。青婦部主催。  
「宮沢賢治の世界を観る・聴く」アニメ「グスコープドリの伝記」上映  
一人語り「よだかの星」林洋子
11. 11～12 晩秋の九十九里酒蔵巡り。青婦部主催。
11. 15 理工・習志野両支部合同討論会。理工学部の教育を語り、教育理念を考える集い。
11. 23 平7年末一時金要求提出。(基本給+家族手当+住宅手当) ×4.0 ヶ月+10 万円
11. 14 平7年末賞与妥結。団交4回後。  
(基本給+家族手当) ×3.2 ヶ月+1 万円+12,000 円
12. 19 「組合報」154号記事。

「日本大学新入生の家計負担調査結果（95年度）  
受験から入学までの費用合計（自宅外通学者）215万4,600円、など

12.21 申し入れ書「調剤薬局クラフトからの未公開株譲渡問題について」を提出。